

平和を想う

トメの想いを受け継ぐ孫たち



故 鳥濱 明久



赤羽 潤

- ・ 故 鳥濱 明久（トメ長女的美阿子の息子）

幼少の頃より31年間トメと暮らして特攻隊の語り部を聴き続け、その特攻隊の史実、遺志を30年間にわたり日本全国の小中学生、青年会議所、企業など80万人以上に語り続けた。

- ・ 赤羽 潤（トメ次女の礼子の息子）

2歳から高校までを知覧でトメから特攻の話聞きながら育ち、礼子が東京で居酒屋「薩摩おごじょ」を経営しながら語り部を継いでいた時には寄り添い支え、礼子が鬼籍に入った後には、その意志を汲んで薩摩おごじょの経営と語り部を引き継いでいる。

鳥濱トメとは

先の大戦時、鳥濱トメは鹿児島県知覧町で陸軍指定食堂となった富屋食堂を営んでいました。特攻に命を捧げる若者達を不憫に思い、せめて出撃までの数日間だけでも母の代わりになってあげようと私財を投げ打ってまで手料理を作ってあげ、また、軍に見つからないように家族への手紙を出してあげました。戦後は、遺族に手紙を書いて励ますとともに、特攻隊員の慰霊のために観音堂の建立を働きかけました。そうして、トメは特攻の母と呼ばれるようになりました。

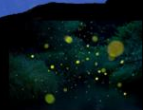
鳥濱トメの生い立ち

1902年 6月20日	1910年～	1917年～	1922年～	1929年～
トメ 0 歳	トメ 8歳～	トメ 15歳～	トメ 20歳	トメ 27歳
トメ誕生	子守奉公	女中奉公	結婚	富屋食堂開店
坊津	枕崎へ	鹿児島市内 警察署長宅 (辛い中で努力) ↓ 18歳 加世田市 竹屋旅館 女将の人情 鳥濱との出会い	知覧  義勇 トメ 鳥濱家:薩摩士族 義勇:仕送り トメ:行商	知覧  井・麺類等、煙草 役所、警察弁当 美人女将-繁盛
私生児 姓：栗野	口減らし 小学校1年間 山道を数時間			

- ・ トメ誕生：1902年6月20日誕生、私生児となり実家の姓を貰い栗野トメと命名
- ・ 子守奉公：8歳、小学校に1年通っただけで口減らしのため隣町へ子守奉公
- ・ 女中奉公：15歳、女中奉公として警察署長宅で努力、竹屋旅館で夫との出会い
- ・ 結婚：20歳、旧薩摩士族 鳥濱家長男の義勇と結婚、夫は仕送り、トメは行商
- ・ 富屋食堂開店：27歳、富屋食堂開店、色々なメニューがあり多くの役所も利用し繁盛

鳥濱トメ

陸軍・特攻隊 との関わり



知覧基地(陸軍飛行学校 知覧教育隊)



1940年11月19日

知覧飛行場地鎮祭

1941年12月10日

飛行場完成 (8日：米英に宣戦布告)

1942年 1月30日

最初の少年飛行兵到着(10期80名)

富屋食堂が陸軍指定食堂 (少年飛行兵の憩いの場)



正門



初等練習機

中間練習機



上官の訓示



本部



戦闘機

高等練習機

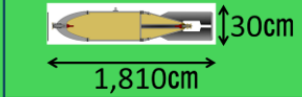


整備教育

操縦教育

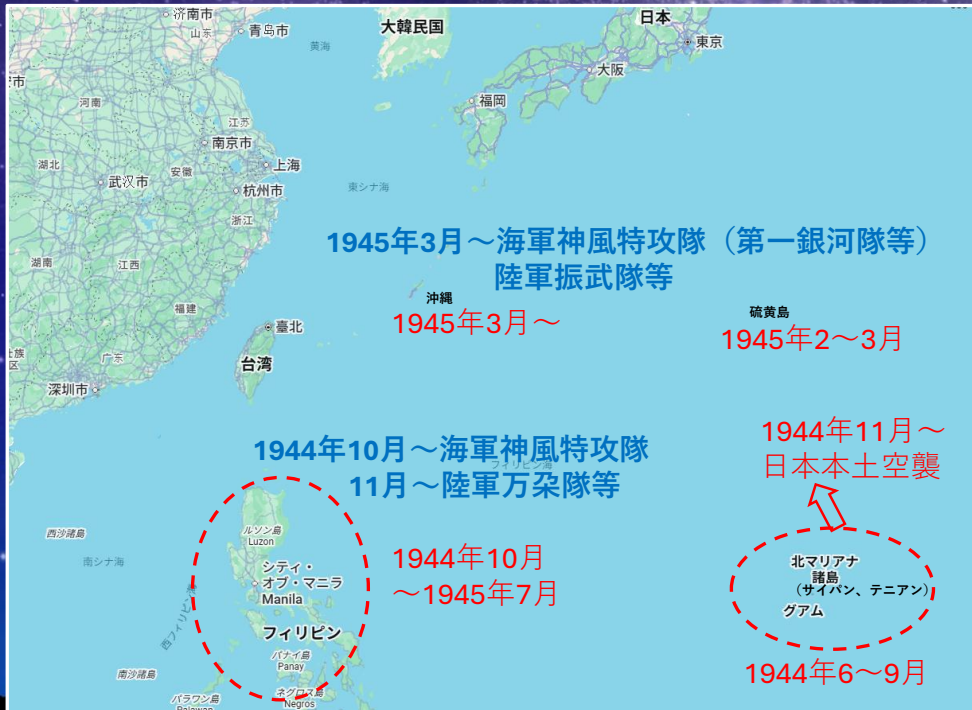
- ・ 1940年11月19日：知覧に飛行場を作ることが決まり地鎮祭
- ・ 1941年12月10日：知覧飛行場が完成、8日の真珠湾奇襲攻撃大勝利があり大歓迎
- ・ 1942年1月30日：最初の少年飛行兵（第10期生）約80名が到着
- ・ 富屋食堂は軍指定食堂となり、少年飛行兵の憩いの場に
- ・ 画面下段は知覧教育隊の写真で、教育は厳しく、ビンタやゲンコツは当たり前

特攻隊(特別攻撃隊)とは

所属	分類	攻撃手段	組織名
海軍	航空特攻	航空機（爆弾搭載）	神風特攻隊（敷島隊、大和隊等）
	水中特攻	人間魚雷、特殊潜航艇、潜水服で機雷	回天特攻隊、特殊潜航艇隊、伏龍特攻隊
	水上特攻	モーターボート（爆弾搭載）	震洋特攻隊
陸軍	航空特攻	航空機（爆弾搭載）	振武隊、万朶隊、富嶽隊等
	空挺特攻	敵飛行場に強行着陸	義烈空挺隊
	地上特攻	爆弾を身にまとう	各部隊の斬込隊、イリサン戦車特攻隊
	水上特攻	小型艇（爆薬積載）	海上挺身戦隊
航空特攻	爆弾を抱えた飛行機で敵艦船に体当たりして撃沈しようとする必死の作戦		250キロ爆弾(25番)のサイズ 
	特攻の生みの親 海軍 大西中将「統率の外道」		

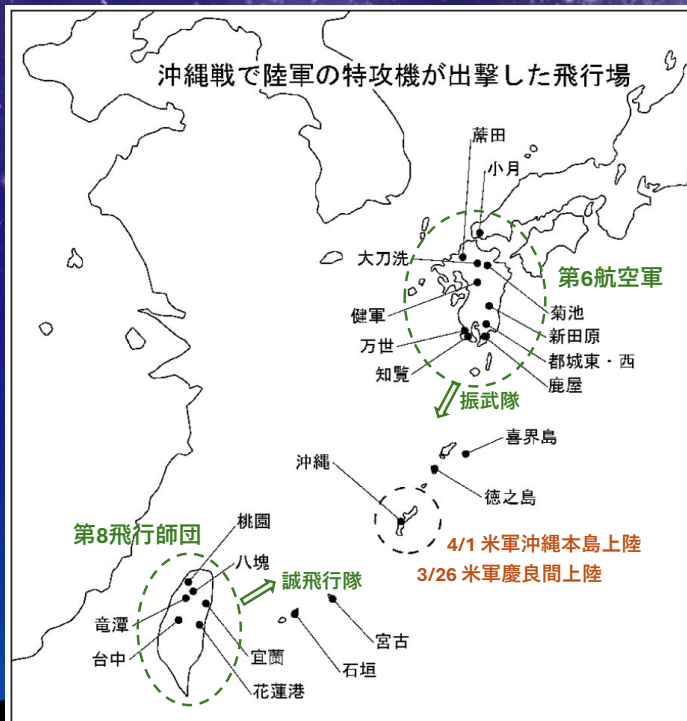
- ・ 特別攻撃隊：命を犠牲にすることを前提とした組織的な攻撃
- ・ 分類：攻撃する場面により、空中(航空)、水中・水上、陸上での特攻等
- ・ 航空特攻：爆弾を抱えたた飛行機で敵の艦船に体当たりして沈めようとする、パイロットは必ず “死ぬ” という作戦（トメとの関係は航空特攻「振武隊」）
- ・ 特攻の生みの親と言われている海軍の大西中将は、特攻を「統率の外道」

米軍の進攻と特攻開始



- ・ 1944年6月～9月：北マリアナ諸島のサイパン島、グアム島等の日本軍が玉砕
- ・ 10月：米軍がフィリピン奪回作戦に乗り出す中、海軍にて神風特別攻撃隊
- ・ 11月：サイパン島などから出撃したB-29爆撃機による日本本土への空襲開始
- ・ 1945年3月：硫黄島の日本軍が玉砕、23日から沖縄へ米艦隊の艦砲射撃開始、26日から沖縄での陸軍による航空特攻開始

沖縄戦での特攻



出撃地	人数
鹿児島県	知覧 402名
	徳之島 ※ 14名
	喜界島 ※ 23名
	万世 120名
宮崎県	鹿屋 12名
	都城東 73名
	都城西 10名
熊本県	新田原 38名
	健軍 127名
福岡県	菊池 1名
	大刀洗 14名
山口県	篠田 4名
	小月 2名
沖縄県	沖縄 20名
	石垣 31名
	宮古 10名
台湾	宜蘭 37名
	台中 31名
	八塊 32名
	桃園 15名
	花蓮港 15名
	竜潭 5名
合計	1036名

※ 徳之島、喜界島は知覧から経由地

- ・ 沖縄戦における陸軍航空特攻作戦：九州、日本が統治していた台湾など多くの基地から出撃し、九州から出撃した部隊を「振武隊」、台湾から出撃した部隊を「誠飛行隊」と呼称
- ・ 知覧基地：本土最南端であり、全特攻戦死者1,036名のうち、439名

特攻隊員へのトメの思い遣り



- ・ トメは、明日のない特攻隊員たちのお母さんとして振る舞おうと決心
- ・ 彼らがゆっくり出来るように食堂の2階を提供して自分達は隣の旅館を間借り
- ・ 彼らが食べたい料理をふるまうため、自分の着物や家財道具を売ってまで食材を調達
- ・ 軍統制下の営業時間を守らなかったため、憲兵隊に連行されて殴る蹴るの体罰
- ・ 検閲を通さない手紙を彼らから預かり、憲兵に見つからないように発送
- ・ 出撃後はご遺族に手紙を書いて知らせ、立ち直るまで手紙で激励

特攻隊員の慰霊 ～棒杭の墓標～



- ・飛行場でのお別れ：飛行場で燃やされる飛行機へお別れ
- ・棒杭の墓標：飛行場に棒杭を立てて特攻隊員たちのお墓とし毎日参拝
- ・観音像建立の誓い：特攻隊員たちの供養のため大慈悲の観音像建立を決意

観音堂の建立



観音堂(建立当時)



観音像(世田谷山観音寺)



観音堂(現在)

- ・ 観音像建立の請願：トメは知覧町長へ観音像建立を懇願し、トメが小学生時の担任であった町長は観音像設置を決定
- ・ 観音像開眼：トメは、観音様を開眼するため世田谷山観音寺へ（法隆寺の国宝「夢違い観音」を模して製作）、1955年9月28日に知覧飛行場跡地に観音像建立
- ・ 後継者の確保：トメは、観音像を守ってくれる後継者を得るため、お菓子を配って子供を集め、観音堂の掃除をして特攻についてお話
- ・ 現在の観音像：特攻平和観音堂に安置され、慰霊に訪れる人は年間30万人超



鳥濱トメ

特攻隊員
との親交

。

宮川三郎 軍曹 (少尉へ特進)



宮川三郎 軍曹



松崎義勝 伍長



滝本恵之助 伍長

【宮川三郎 軍曹】

- ・新潟県小千谷市の出身で比較的長く知覧に滞在し、トメ家族と特に親密
- ・出撃前日は宮川軍曹20歳の誕生日であり、富屋食堂で心尽くしのお祝いを受け、「蛍になった帰って来る」と言って出撃
- ・蛍が約束の時間通りに富屋食堂に入ってきて、皆が涙を流しながら同期の桜を歌唱

【松崎義勝 伍長】

- ・宮川軍曹と故郷の小千谷高等小学校で級長を競い合った親友
- ・富屋食堂で奇跡的に宮川軍曹と再開し、宮川軍曹に見送られて出撃

【滝本恵之助 伍長】

- ・宮川軍曹と万世飛行場から出撃した仲間で、2人だけが機体不良で戻って来たため、生き残りの烙印を押されて孤独
- ・再度、宮川軍曹と出撃した際も悪天候により引き返し、蛍となった宮川軍曹と再開
- ・終戦後、宮川軍曹のお墓参りに行き、ご両親に当時の様子を話して感謝された後、一週間しないうちに自害



勤労奉仕隊

- ・ 勤労奉仕隊：特攻隊員たちの食事の運搬や衣類の洗濯、縫物など身の回りの世話
- ・ なでしこ隊：勤労奉仕隊として「知覧高等女学校」三年生が動員され、自らのことを校章の「なでしこ」にちなみ「なでしこ隊」と呼称

勤労奉仕隊の活動



- ・写真上段：隊員たちが暮らした三角兵舎と呼ばれる建物を再現したもの。敵に見つからないように林の中に屋根が低くなるよう穴を掘って半地下として建設
- ・写真下段：当時の三角兵舎内における隊員の様子と勤労奉仕隊が食事の配膳をしている様子

勤労奉仕隊による見送り



- ・写真上段：勤労奉仕隊が桜の枝を振りながら特攻隊の出撃を見送っている様子
- ・写真下段：勤労奉仕隊が特攻隊員に贈った自分達の作ったマスコット人形と武運を祈る日の丸の血染めの鉢巻き